

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

1 結核予防事業

平成 29 年の結核患者の新登録患者数は 91(前年 102)人、罹患率(人口 10 万対)は 11.3(前年 12.8)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は 42.7(前年 34.7)%とやや増加した。(表 1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 18 条に基づく就業制限通知が 46(前年 40)件、同法第 19 条及び第 20 条に基づく入院勧告が 159(前年 134)件、同法第 37 条の 2 に基づく医療費公費負担診査が 227(前年 231)件であった。(表 1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS 支援員の派遣、薬局 DOTS の実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成 19 年 4 月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は 2 類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

2 感染症予防事業

平成 29 年は、感染症法に基づく 1 類・2 類(結核は除く)感染症の発生はなく、3 類感染症は 36 人(前年 19 人)、4 類感染症は 6 人(前年 19 人)、5 類感染症(全数把握対象分)の発生は 96 人(前年 125 人)であった。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は 23 件(前年度 45 件)、相談対応件数は 35 件(前年度 42 件)であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生していた。(表 2-(7)-オ)

平常時対策として、医療機関の立入検査、介護老人保健施設の実地指導の際等に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施した。また、医療機関を対象に研修会を開催し、院内感染対策に関して周知徹底を図った。高齢者施設や乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図った。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成 24 年 8 月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、県内関係各機関との連絡体制を確認するとともに、県疾病対策課主催の感染症患者移送に係る合同実地訓練に参加し、連携を深めた。

地域においては、新型インフルエンザ等感染症発生時の体制整備のため、病院及び診療所において地域感染期の訓練を実施するとともに、新型インフルエ

ンザ等地域医療委員会・新型インフルエンザ等医療体制講演会を開催し、情報共有を図った。

更に MERS の発生に備え、関係機関と合同で検体受け渡し方法について確認した。また、各市、消防及び警察との情報交換会を開催し、情報共有、連携強化を図っている。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制を確認し、全職員を対象に、防護服着脱訓練、N95 マスクフィットテストを実施した他、車いす型アイソレーター使用による感染症患者の移送訓練を行った。

3 エイズ対策事業

HIV 検査は即日検査（日中）及び夜間検査で実施し、平成 29 年度は 397 件であった（表 3-(3)）。同時に梅毒・クラミジア検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。

エイズ予防啓発事業としては、学校管理者及び養護教諭、保健主事や保健体育教諭等に研修会を開催し、学校における性感染症予防や性的マイノリティ（LGBT）に関する啓発に努めた。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給し、被爆者の定期健康診断を年 2 回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 9年	平成 14年	平成 19年	平成 24年	平成 27年	平成 28年	平成 29年
区分								
管内人口		461,126	470,759	476,792	780,201	789,308	796,479	804,619
新登録患者数		112	88	100	104	96	102	91
年末時登録者数		322	270	271	321	242	241	251
結核死亡者数	管内	4	6	6	5	3	7	7
	千葉県	80	54	54	51	68	71	75
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.9	1.3	1.3	0.6	0.4	0.9	0.9
	千葉県	1.6	1.1	1.0	1.0	1.3	1.3	1.4
罹患率 (人口10万対)	管内	24.3	18.7	21.0	13.3	12.2	12.8	11.3
	千葉県	23.4	22.6	18.8	14.1	13.7	14.2	11.9
有病率 (人口10万対)	管内	25.2	19.5	20.1	10.1	9.1	8.7	7.2
	千葉県	27.7	22.9	14.2	8.9	9.0	9.1	7.4

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1－(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	活動性結核						罹患者 (人口10万対) 率	肺結核の うち 陽性の割合 (%)	無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)	疑似症患者	結核死亡者 の体	結核死亡疑い者 の体				
	総 数	活動性肺結核				肺活 外動 結核性							(別掲)			
		計	陽性 性	喀痰 塗抹 性	結核菌 陽性 性								その他 の他 性	その他 の他 性	結核死亡者 の体	結核死亡疑い者 の体
平成27年	96	73	32	30	11	23	12.2	43.8	49	-	-	-				
平成28年	102	75	26	33	16	27	12.8	34.7	52	-	-	-				
平成29年	91	75	32	34	9	16	11.3	42.7	86	-	2	-				
松戸市	59	49	22	22	5	10	12.1	44.9	61	-	2	-				
流山市	24	20	7	11	2	4	13.0	35.0	17	-	-	-				
我孫子市	8	6	3	1	2	2	6.0	50.0	8	-	-	-				

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1－(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活動性結核					不 活 動 性 結 核	不 明	(有 病 率 (人口10万対) 率	無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症) (別掲)	
		計	活動性肺結核			肺活 外動 結核性				治療中	観察中
			陽性 性	喀痰 塗抹 性	結核菌 陽性 性						
平成27年	242	72	27	17	10	18	121	49	9.1	25	140
平成28年	241	69	21	24	7	17	136	36	8.7	37	110
平成29年	251	58	20	21	7	10	179	14	7.2	40	110
松戸市	166	41	14	15	5	7	115	10	8.4	29	73
流山市	56	10	3	5	1	1	44	2	5.4	8	23
我孫子市	29	7	3	1	1	2	20	2	5.3	3	14

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1- (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 27 年		96	-	-	8	7	8	11	8	24	21	9
平成 28 年		102	-	1	13	5	18	8	13	13	19	12
平成 29 年		91	-	-	9	8	14	13	7	14	17	9
松 戸 市		59	-	-	8	4	9	10	4	10	10	4
流 山 市		24	-	-	1	4	4	3	1	1	7	3
我 孫 子 市		8	-	-	-	-	1	-	2	3	-	2

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1- (5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 27 年		242	-	1	19	20	26	30	38	48	47	13
平成 28 年		241	-	2	23	17	38	29	32	40	45	15
平成 29 年		251	-	1	26	21	39	31	29	41	48	15
松 戸 市		166	-	1	23	13	25	24	19	25	30	6
流 山 市		56	-	-	2	8	10	6	7	7	11	5
我 孫 子 市		29	-	-	1	-	4	1	3	9	7	4

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	
				訪問 回数	左の内訳		訪問 面接	所内 面接	電話・ その他									薬 局
初 回	期 間 内	退 院 前																
平成27年	保健師	2	84	33	21	30	149	50	767	-	38	94	161	-	5	65	38	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	14	-	318	-	-	-	595	-	-	-	410	-
	薬局	8	-	-	-	-	-	-	-	103	-	-	-	4	-	-	-	21
平成28年	保健師	3	156	32	94	30	150	80	80	-	62	90	34	-	36	60	24	-
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	290	-	-	-	216	-
	薬局	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
平成29年	保健師	3	195	40	120	35	175	87	118	-	81	108	140	-	30	50	20	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	33	-	59	-	2	-	150	-	33	-	350	-
	薬局	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	65
平成29年 患者数 (人)			32						59				68					

※潜在性結核の患者数は、内服治療を希望しなかった登録者を除く

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
平成27年	実施者数	77	33	29	49	
	患者数※	73	66	30	79	
平成28年	実施者数	101	75	30	45	
	患者数※	104	77	30	48	
平成29年	実施者数	95	77	35	72	
	患者数※	95	77	35	72	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供) を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 27 年	148	146	98.6	258	76	9	173	-	-	131	6	9	-	-
平成 28 年	131	127	96.9	232	84	1	145	1	1	113	-	12	2	1.6
平成 29 年	118	116	98.3	212	83	2	127	-	-	99	3	12	2	1.7
保 健 所	/			136	52	-	84	-	-	/				
委 託 分				65	31	2	32	-	-					
そ の 他				11	-	-	11	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 27 年	839	803	95.7	1,134	323	20	791	-	-	733	46	23	1	0.1
平成 28 年	969	937	96.7	1,306	574	4	722	3	3	828	78	27	4	0.4
平成 29 年	962	933	97.0	1,239	787	66	372	8	6	877	12	44	-	-
保 健 所	/			591	435	-	156	-	-	/				
委 託 分				563	349	65	142	4	3					
そ の 他				85	3	1	74	4	3					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成 27 年度以降は年（1 月 1 日～12 月 31 日）で集計

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施 率 ②/① (%)	実施 件数 (延件数)	エ ッ ク ス 線 撮 影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗 抹	培 養	観 察 不 要	経 過 観 察	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
平成 27 年	347	286	82.4	443	443	-	-	86	357	-	-
平成 28 年	352	317	90.1	395	395	-	-	306	10	1	0.3
平成 29 年	300	283	94.3	449	435	7	7	274	7	2	0.7
保 健 所	/			102	102	-	-	/			
委 託 分				59	45	7	7				
そ の 他				288	288	-	-				

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族			問 格	合 格	不 合格	問 格	合 格	不 合格	問 格	合 格	不 合格	問 格	合 格	不 合格
	問	格	不 合格	問	格	不 合格	問	格	不 合格												
平成 27 年	195	195	-	55	55	-	14	14	-	52	52	-	49	49	-	23	23	-	2	2	-
平成 28 年	231	231	-	44	44	-	18	18	-	73	73	-	89	89	-	6	6	-	1	1	-
平成 29 年	227	226	1	82	82	-	11	11	-	54	54	-	67	66	1	12	12	-	1	1	-

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総 数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成 27 年	45	4	1		14	21	5	-
平成 28 年	41	7	2		10	21	1	-
平成 29 年	45	9	1		10	21	3	1

※本表は実人数で計上

※平成 27 年度以降は年 (1 月 1 日～12 月 31 日) で集計

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成27年	43
平成28年	40
平成29年	46

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成27年	44	43	83
平成28年	41	40	53
平成29年	44	43	72

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成27年	—
平成28年	1
平成29年	—

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成27年	-	29	7	22	-	29	-	-
平成28年	-	5	2	3	-	5	-	-
平成29年	-	67	29	38	-	67	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成27年	261	138	330	21	45	3
平成28年	477	180	589	23	44	1
平成29年	487	380	763	51	52	1

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成27年	464	445	364	399	100	46
平成28年	480	381	402	340	78	41
平成29年	342	219	240	174	102	45

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影件数	直接撮影件数	喀痰検査件数	発病のおそれ がある者の数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
	平成27年		229,740	80,710	35.1	35,901	44,809	18	-	1
平成28年		242,477	81,059	33.4	14,892	66,167	3	3	5	0.006
平成29年		251,988	86,564	34.4	8,982	77,582	13	5	4	0.005
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	13,971	13,661	97.8	3,097	10,564	1	1	1	0.007
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	3,375	3,302	97.8	915	2,387	-	-	-	-
	施設長 その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	27,254	25,608	94.0	4,970	20,638	12	-	1	0.004
	市町村長	207,388	43,993	21.2	-	43,993	-	4	2	0.005

※平成27年度以降は年(1月1日～12月31日)で集計

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1-(15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場所	形態	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 2月15日	柏市保健所	研修会	千葉県東葛北部地域結核研修会 ～診断・治療・DOTSについて～	医療機関及び 行政関係者	57

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成29年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成29年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成27年	27	—	1	26	—	—
平成28年	19	—	—	19	—	—
平成29年	36	—	—	36	—	—
松戸市	8	—	—	8	—	—
流山市	5	—	—	5	—	—
我孫子市	11	—	—	11	—	—
その他 (管外)	12	—	—	12	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1	E型肝炎	1	-	-
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	1	-	-
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	...	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チグングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	-	1	-
22	デング熱	1	1	1
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	1	-	-
36	マラリア	1	1	1
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	6	16	4
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1	アメーバ赤痢	15	14	8
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	4	3
4	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	11	10	18
5	クリプトスポリジウム症	-	-	-
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	7
8	後天性免疫不全症候群	12	13	13
9	ジアルジア症	-	-	-
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	2
11	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
12	侵襲性肺炎球菌感染症	8	29	20
13	水痘(入院例に限る。)	1	1	2
14	先天性風しん症候群	-	-	-
15	梅毒	6	29	18
16	播種性クリプトコックス症	-	2	2
17	破傷風	1	-	1
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
20	風しん	1	-	1
21	麻しん	-	16	-
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	-	-

※3, 13, 16, 22の疾患は平成26年9月より届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
24	15	5	6	1	44

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,957	11,811	11,559
2	RS ウイルス感染症	604	511	731
3	咽頭結膜熱	909	452	441
4	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,836	3,071	3,165
5	感染性胃腸炎	5,149	7,176	4,627
6	水痘	587	427	273
7	手足口病	1,850	1,107	1,521
8	伝染性紅斑	711	95	36
9	突発性発しん	486	451	419
10	百日咳	20	4	3
11	ヘルパンギーナ	494	710	388
12	流行性耳下腺炎	523	775	138
13	急性出血性結膜炎	1	6	3
14	流行性角結膜炎	393	162	138
15	性器クラミジア感染症	154	158	142
16	性器ヘルペスウイルス感染症	66	88	101
17	尖圭コンジローマ	32	33	23
18	淋菌感染症	43	38	35
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	4	-	9
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	5	1	4
22	マイコプラズマ肺炎	9	98	17
23	無菌性髄膜炎	5	15	4
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	2	0
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	55	40	34
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	2	0

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	2	-	1
検体提供数 (件)	44	2	-	0

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 27 年度	353	2,815	340	13	-	-
平成 28 年度	216	3,317	201	14	1	-
平成 29 年度	122	4,579	486	25	4	-
幼 稚 園	25	314	12	12	4	-
小 学 校	75	3,510	396	11	-	-
中 学 校	17	651	68	2	-	-
高等学校	5	104	10	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 29 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 29 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況
(単位：調査(人), 検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成 27 年度	28	238	-	-	1	4	27	234	-	-	-	-	22
平成 28 年度	16	67	-	-	-	-	15	65	1	2	-	-	1
平成 29 年度	44	213	-	-	2	36	42	177	-	-	-	-	36

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4類感染症健康調査状況 (単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 29 年度	つつが虫病	0
	デング熱	1
	レジオネラ症	2

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5類感染症健康調査状況 (単位：件・人)

区分	疾患名	調査
平成 29 年度	感染性胃腸炎	23 件 (135 人) ・ 相談対応 35 件
	インフルエンザ	92 件
	麻しん・麻しん疑い	0 件 ・ 23 件

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成27年度	4	4	-	-	3	-	-	-	-
平成28年度	17	17	-	-	17	-	-	-	-
平成29年度	4	4	-	-	2	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
	麻しん疑い	0	23	23
	鳥インフルエンザ疑い	0	0	0

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸 菌感染症	-	
平成27年度	1	26	-	27
平成28年度	-	14	-	14
平成29年度	2	38	-	40

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2 - (11) - ア 感染症予防対策研修会実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成29年 6月2日	松戸市 民劇場 ホール	<u>給食施設衛生研修会</u> ※ 講義 「給食従事者の健康管理について ～感染源にならないために～」	給食施設 管理者・従 事者	210
平成29年 8月18日	松戸市 民会館	<u>平成29年度松戸市学校給食事業者研修会</u> ※ 学校給食における衛生管理に関すること 講義 「給食従事者の健康管理について ～感染源にならないために～」	学校栄養 職員・学校 給食調理 員(委託調 理員も含 む)	504
平成29年 8月21日	東葛飾合 同庁舎6 階第1会 議室	<u>感染症予防対策研修会(乳幼児施設)</u> (1)講演 「やってみよう サーベイランス」 講師 千葉感染制御研究所代表 柴田幸治氏 (2)サーベイランス実践報告 報告者：流山市保育課 (3)グループワーク 「各市における現在の対応～マニュアルより～」 説明者：松戸市幼児保育課・流山市保育課・ 我孫子市保育課 ・テーマ別ディスカッション ① サーベイランス ② 感染性胃腸炎の対応 ・グループワーク発表・意見交換 (4)講義「事例紹介 ～ここはおさえよう 感染防止のポイント～」 講師 松戸保健所疾病対策課感染症担当	管内保育 所・小規模 保育事業 所・認可外 保育所・認 定こども 園・幼稚 園・障害児 通園施設 等の職員 (看護師・ 保健師)、 市担当職 員等	93
平成29年 8月24日	流山市生 涯学習セ ンター	<u>給食施設衛生講習会</u> ※ 集団給食施設における衛生管理について 講義 「給食従事者の健康管理について ～感染源にならないために～」	学校給食 栄養士、調 理師、臨時 調理員、配 膳員	184

平成29年 9月4日	東葛飾合 同庁舎6 階第1会 議室	<u>感染症予防対策研修会（高齢者施設）</u> (1)報告 「管内の感染症発生状況」 報告者：松戸保健所疾病対策課感染症担当 (2)講演 「施設における感染対策 ～ラウンドを通して考えること～」 講師：流山中央病院 感染管理認定看護師 鈴木理恵子氏 (3)インフルエンザ対策実践報告 ①「入所施設のインフルエンザ対策」 報告：特別養護老人ホーム はまなす苑 ②「通所施設のインフルエンザ対策」 報告：社会福祉法人六高台福祉会 松寿園 (4)質疑応答 オブザーバー：流山中央病院 感染管理認定看護師 鈴木理恵子 氏	管内高齢者 福祉施設等 の職員(通所 介護事業 所・通所リハ ビリ事業 所・短期入所 生活介護事 業所・介護老 人福祉施 設・介護老人 保健施設・小 規模多機能 型居宅介護 事業所、グル ープホー ム・有料老人 ホーム等) 市担当職員	120
平成29年 10月2日	松戸市衛 生会館3階 大会議室	<u>平成29年度松戸市放課後児童クラブ職員研修会※</u> 講演「感染症の基礎知識」 実技演習 「個人防護具着脱」 講師：松戸保健所疾病対策課感染症担当	松戸市放課 後児童クラ ブの職員(2 年未満)・管 理者	71
平成29年 10月3日	東葛飾合 同庁舎6 階第2会 議室	<u>保育所感染対策研修会</u> 講演 『保育所の感染対策を向上させる意義と方法 ～マニュアル作成をステップに子供と地域を 守る～』 講師：千葉感染制御研究所 代表 柴田幸治 氏	市担当職員 ・保育施設職 員	51
平成30年 3月13日	東葛飾合 同庁舎6 階第1会 議室	<u>医療機関における感染症対策研修会</u> 講演 『医療分野における薬剤耐性（AMR）対策の現状と これから』 講師：国立国際医療研究センター病院 副院長 AMR臨床リファレンスセンター長 国際感染症センター長 大曲貴夫 氏	管内病院・ 有床診療所 ・助産所・ 医師会・ 薬剤師会	88

※は、他機関または他課主催

イ 市への支援

松戸市感染対策委員会に出席し、講話（感染症に関する情報提供）を行った（表 2 - (11) -イ参照）。

表 2 - (11) -イ 市への講話実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成29年5月26日	松戸市役所 別館 地下研修室	<u>第1回 感染症対策委員会（松戸市）</u> (1) 講話「平成28年度食中毒の発生状況について」 松戸保健所 次長 秋谷英之 (2) 新型インフルエンザ等対策について ① 対応マニュアル ② 業務継続計画（BCP） (3) 平成29年度連絡体制 (4) 情報交換 その他	43
平成29年11月24日	松戸市役所 別館 地下研修室	<u>第2回 感染症対策委員会（松戸市）</u> (1) 講話「腸管出血性大腸菌感染症 ～動向と今後の課題について～」 松戸保健所 疾病対策課長 影山育子 (2) 新型インフルエンザ等対策訓練について ① 平成29年度新型インフルエンザ等対応訓練—県内感染期における診療体制の実践—（松戸保健所主催訓練参加報告） ② 平成29年度松戸市感染症対策委員会連絡訓練（実施報告） ③ 平成29年度感染防護衣等着脱訓練（実施報告） (3) 情報交換 その他	41

また、流山市の流山市感染制御チームが実施する「流山市保育所感染対策事業プログラム」へ全9回出席し、保育施設における感染対策に関する助言・指導を行った。

流山市保育課が、流山市内の保育所における感染対策のレベルアップを目的とする流山市保育所感染対策事業の一環として、「N-NICT（流山市保育所感染制御チーム）」を10月5日に立ち上げた。保健所としては、N-NICT立ち上げに合わせ研修会を開催した。N-NICTでは、『流山市保育所（園）における感染対策マニュアル作成の手引き（第2版）』の作成に向け、保育行為における感染危害分析等12回の会議を重ねているが、保健所からは9回会議に参加し、助言指導を実施。流山市内の保育施設の感染対策の向上に向け支援している。

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査 33 施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設 3 施設に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行った。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

オ 所内における感染症対策に関する研修会

表 2 - (1 1) - オ 研修会実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成 29 年 8 月 22 日	松戸保健所 指導室	院内感染対策について (立入に向けて)	7

(1 2) 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸健康福祉センター (松戸保健所) と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成 24 年 8 月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者 (医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等) に対し、感染症に関する情報を月 1 回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は 125 件であったが、周知啓発により平成 29 年度末には 543 件の登録となった。平成 29 年度の感染症情報配信は、定期配信 12 回、臨時配信は 8 回 (表 2 - (1 2)) であった。

表 2 - (1 2) 感染症情報 臨時配信状況

配信日	内容
平成 29 年 8 月 16 日	① 腸管出血性大腸菌感染症 (HUS 発症例) の届出・報道発表 ② インフルエンザ集団発生について
平成 29 年 9 月 7 日	腸管出血性大腸菌感染症が急増。要注意。 <添付資料> ① 【千葉県庁疾病対策課】9 月 6 日 千葉県の報道発表 ② 【千葉県衛生研究所】2017 年 35 週 千葉県の腸管出血性大腸菌感染症発生状況
平成 29 年 9 月 12 日	インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告
平成 29 年 10 月 5 日	麻しん患者の発生に関する情報

平成 29 年 11 月 30 日	インフルエンザの流行シーズン入りについて (平成 29 年 11 月 29 日千葉県報道発表)
平成 29 年 12 月 28 日	風しんに関する特定感染症予防指針の一部改正に伴う風しん 診断例に対する検査について
平成 29 年 2 月 23 日	麻しん患者の発生について (茨城県報道発表)
平成 29 年 2 月 26 日	木更津市内の幼稚園でノロウイルスによる感染性胃腸炎の 集団発生

(13) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表 2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開 催 月 日	出席者数	主 な 協 議 内 容
平成 29 年 9 月 28 日	29 機関 52 名	<u>I 部 会議</u> 議題 医療機関における県内感染期の対応 (1) 『千葉県の新型インフルエンザ等に備えた対策の実際』 松戸保健所 所長 新玲子 (2) 新型インフルエンザ等対応訓練報告 ① 病 院・流山中央病院 感染管理認定看護師 鈴木理恵子 氏 ② 診療所・新松戸診療所 所長 三浦聡雄 氏 ③ 意見交換 (3) その他 <u>II 部 講演会</u> 『鳥・新型インフルエンザに備える ―海外での活動から―』 講師 国立感染症研究所 感染症疫学センター 山岸拓也氏

イ 新型インフルエンザ等医療体制講演会

表 2-(13)-イ 新型インフルエンザ等医療体制講演会開催状況

開 催 月 日	出席者数	内 容
平成 29 年 9 月 28 日	89 名 (委員含)	講演 『鳥・新型インフルエンザに備える ～海外での活動から～』 講師 国立感染症研究所 感染症疫学センター 山岸拓也氏

ウ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表 2-(13)-ウ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
平成29年6月26日	13 機関 29 名	平成 29 年度感染症に関する情報交換会（市・消防・警察・保健所） （1）訓練 1) 防護服着脱訓練 2) 患者移送訓練 ① 移送前のミーティング ② 防疫車への患者乗降 ③ 移送中の連絡 ④ 防疫車（運転席）の視界確認 ⑤ 消毒 （2）意見交換 （3）その他
平成29年7月31日	18 機関 75 名	平成 29 年度新型インフルエンザ等対応訓練（流山中央病院） 県内感染期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会
平成29年8月15日	6 機関 12 名	平成 29 年度新型インフルエンザ等対応訓練（新松戸診療所） 県内感染期におけるトリアージ及び診療等対応訓練、反省会
平成29年12月5日	4 機関 9 名	新病院移転後の感染症発生時の対応確認 （松戸市立総合医療センター） MERS 患者対応・検体受け渡し等
平成30年3月16日	2 機関 9 名	新病院移転後の感染症発生時の対応確認 （松戸市立総合医療センター） 陰圧室の運用・MERS 患者対応・検体受け渡し等

エ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表 2-(13)-エ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成 29 年 4 月 18 日 4 月 19 日 4 月 21 日	松戸保健所 会議室	感染症についての講話 AED 操作 N95 マスクのフィットテスト 防護服等着脱訓練	61
平成 29 年 6 月 23 日	東葛飾合同 庁舎駐車場	エボラ出血熱患者移送訓練 （車いす型アイソレーター使用による 感染症患者の移送訓練）	21

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成29年5月18日	流山市 文化会館 第2会議室	研修会	「学校現場における生きるための心を育てる教育（性教育）の大切さ」 講師：東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 渡會 睦子氏	管内小学校・ 中学校の管理 職・保健主 事・養護教 諭・保健体育 教諭、市保健 師等	37
平成29年7月24日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	研修会	「LGBT（性的マイノリ ティ）とは？ 教育現場に おけるLGBTの現状」 講師：NPO法人JASH 日本性の健康協会 代表 前田 健太氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の保健 主事・養護教 諭・保健体育 教諭、各市保 健師、助産師 等	65

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成29年 12月6日～ 12月13日	啓発のため、エイズ・STD 予防啓発グッズ等を配布。 【配布物】HIV 検査啓発ポケットティッシュ（1500 個）、パンフレット「みんな知ってる？ STI」（1350 部）、ストップエイズ啓発「チーバくん付箋」（500 個） 【配布先】新京成線松戸駅・八柱駅、流鉄線沿線全 6 駅、北総線東松戸駅、流山市公立中学校

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成27年度		電話相談	46	39	85	157
		来所相談	22	20	42	
		その他	30	0	30	
平成28年度		電話相談	29	14	43	46
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	
平成29年度		電話相談	17	11	28	31
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級	性別	男	女	合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
平成27年度		305	153	458	6	1
平成28年度		245	129	374	3	4
平成29年度		264	133	397	9	3
年齢 階級	～19歳	3	3	6	1	1
	20歳～29歳	79	55	134	4	0
	30歳～39歳	74	40	114	2	1
	40歳～49歳	50	18	68	2	1
	50歳～59歳	33	9	42	0	0
	60歳～69歳	19	4	23	0	0
	70歳～	6	4	10	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3－(3)－イ 性感染症・肝炎検査受付状況

(単位：件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
年度	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成27年度	359	254	105	405	273	132	395	262	133	392	261	131
平成28年度	308	210	98	363	235	128	370	241	129	369	240	129
平成29年度	306	216	90	392	261	131	388	256	132	391	259	132

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査，それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4－(1) 被爆者手帳交付状況

(単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成27年度		353	-	-	4	13	336
平成28年度		336	-	1	2	21	314
平成29年度		314	-	5	2	17	300
松戸市		186	-	3	2	11	176
流山市		70	-	2	-	-	72
我孫子市		58	-	-	-	6	52

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4－(2) 被爆者健康診断実施状況

(単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成27年度	保健所	前期	339	24	7.1	0
		後期	326	20	6.1	1
	委託医療機関		-	137	-	51
平成28年度	保健所	前期	328	21	6.4	0
		後期	324	22	6.8	0
	委託医療機関		-	107	-	42
平成29年度	保健所	前期	310	27	8.7	0
		後期	294	18	6.1	0
	委託医療機関		-	100	-	48

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
総 数	294	279	266
医 療 特 別 手 当	18	16	12
特 別 手 当	1	3	7
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	247	226	213
保 健 手 当	15	15	16
介 護 手 当	2	2	3
葬 祭 料	11	17	15
健 康 手 当	266	245	232

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。